

「NEI 原子力大会での NEI 理事長兼最高経営責任者（CEO）の歓迎挨拶」

2021 年 6 月 7 日

NEI 理事長兼最高経営責任者（CEO）

マリア・コースニック

こんにちは。今年の原子力大会にお迎えすることをとても楽しみにしています。

このイベントの成功に向けてスポンサーのご支援に感謝しています。大会を通じて皆さんにお会いでき、業界の未来を代表するすべてのスポンサーに感謝したいと思います。

原子力産業界だけでなく、国全体にとっても、非常に困難な年でした。パンデミックは私たちに違った考え方を強制しました。私たちは、自分たちがどのように働き、生きたいかについて、異なる考えを持っています。経済とインフラを強化する方法について、そして、エネルギーに関しては、カーボンフリーの未来に到達するための最善の方法について異なる考えを持っています。

今年、私たちの世界に対するメッセージは単純です。原子力は電力生産だけでなく、雇用創出、経済再生、脱炭素化など、あらゆる機能を果たすことができる源だということです。そして、今日ここにお集まりの皆さんは、原子力を働かせることができる人たちです。私たちは、私たちが建設してきたもの、そして私たちが建設することによって役立てようとしている未来をますます認識しつつあります。

この3日間で、未来を形作る政策立案者やインフルエンサーから話を聞くでしょう。

原子力産業は、プラントの運転者からサプライチェーンまで、米国の原子炉群を地球上で最大のカーボンフリーのエネルギー源にしました。今、私たちは原子力を世界のクリーンエネルギーシステムの中核にすることができます。

原子力発電所は国内で最大のカーボンフリーの電力を生産しており、都市部や農村部のコミュニティは24時間体制のクリーンで信頼性の高い電力として原子力に依存しています。原子力は我が国の総電力の20%、カーボンフリー電力の50%以上を占めています。昨年、原子力は米国で2番目に大きな電源になりました。94基の原子炉は、初めて石炭を上回る8,000億kWh近くを発電しました。そして、私たちはより少ない基数の原子炉で、より多くの発電を行っています。2020年に原子力で発電したのと同じ量の電力を1989年に原子力で発電するとすれば、33基の原子炉が追加で必要になったでしょう。私たちは、過去22年間、90%以上の設備利用率で運転することで、これを成し遂げてきました。そして、原子力をさらに手頃な価格にしながら、すべてを行ってきました。

私たちは国に電力を供給し、繁栄するコミュニティの構築を支えてきました。原子力技術は米国の技術です。原子力は、全国で給料の良い雇用、つまりコミュニティを支える雇用を生み出しています。私たちの業界は、真の機会と成長を提供します。私たちは、国家経済の回復を加速し、コミュニティの「より良い復興」を支援することができます。現在、原子力産業は10万人以上の従業員を直接

雇用しています。燃料、製造、メンテナンスを含むサプライチェーンは、その4倍の雇用をサポートし、その多くが労働組合に入っています。

来年初めに運転開始予定のジョージア州のボーグル3号機は、建設の最盛期には、8,000人を雇用していました。これは、州内で最大の建設プロジェクトでした。ボーグル3、4号機は、完成すると、その種の原子炉モデルとしては米国で最初のものになります。これら2基は、カリフォルニア州にある全ての7,200基の風力タービンよりも多くのカーボンフリーの電力を生産します。

パンデミックの期間中も、そして今年の米国南部の壊滅的な冬の嵐のような突然の危機の間中も、原子力労働者は前例のない条件のなか電力を供給し続けました。彼らは病院の明かりをつけ続け、家庭の熱源を維持し続けました。私たちが建設した原子炉群は、まさに必須と言う言葉そのものです。

ワシントンD.Cと全米の州議会では、原子力をクリーンエネルギーシステムの中核にするための比類のない連合を構築しています。気候変動の最悪の影響を避けるためには、2050年までに発電による二酸化炭素排出量をゼロに近づける必要があります。州政府とバイデン政権は、他のカーボンフリー電源と並んで原子力の重要な役割を支持しています。

明日、ジェニファー・グランホルム・エネルギー長官が演説し、二酸化炭素排出のネットゼロを達成する見通しについて講演し、見解を共有することになるでしょう。脱炭素化に関しては、バイデン政権は、いかなるツールも棚上げにしておくことができないことを理解しています。原子力は、風力、太陽光、水力などの他のカーボンフリー電源と並んで重要な役割を果たさねばなりません。

昨年、議会は新技術の研究・開発・実証を加速するために、予算割り当てを大幅に増やしました。両院の議員は、今日の経済と私たちのクリーンエネルギーの未来に対する原子力の貢献を認識する法律に署名しました。

二極化が続く時代には、そうしたサポートは注目に値するものであり、ますます強くなっています。両院の政策立案者は、原子力が生み出す雇用、カーボンフリー電力、海外とのパートナーシップを重視しています。

原子力は、気候変動に対処するうえで世界的に重要な役割を果たす準備ができています。国際エネルギー機関（IEA）は、最近の報告書で、将来のエネルギーシステムにおける原子力の強力な役割を描いています。私たちが一緒に構築してきたすべてのおかげで、私たちにはこの瞬間を迎えるための準備ができています。

今、私たちは概念からサイト選定の段階に入っています。設計から実証の段階にきています。私たちは、次世代の原子力技術について話しているだけでなく、実際に建設を開始しようとしています。次世代の原子炉は、あらゆるサイズ、製造、およびモデルで登場しています。次世代炉は柔軟で多目的に利用できます。次世代炉は出力を変えることができ、風力や太陽光のような、より出力変動性の電源とうまく組み合わせることができます。

次世代炉は、アラスカ北端の小さな町であろうと、石炭からの転換に努めつつエネルギーの独立性を高めようとしているポーランドのような国であろうと、あらゆる状況に対してエネルギーソリューションを提供します。

エキサイティングな新しいプロジェクトが進行中で、ほとんど全てがNEIメンバーを巻き込んで進んでいます。X-エナジー社は、エネルギー省（DOE）との契約を締結し、テラパワー社は先進炉を実証するサイトを選定すると発表しました。水曜日には、テラパワー社を立ち上げたビル・ゲイツ氏が、次世代の原子力が気候危機に対処するのにどのように役立つかについて講演します。

ニュースケール社はNRCから設計承認を受け、ユタ州公営共同電力事業体（UAMPS）と提携し、アイダホ州に小型モジュール炉（SMR）を建設する予定です。ウェスチングハウス（WH）社、GE日立社、ホルテック社は、独自の概念設計について発表します。

継続的な進歩、適切な投資、そして政策の選択により、これらの設計の多くは、この10年間で終わる前に運転開始することができるでしょう。

明日のクリーンエネルギーシステムを構築する際には、私たちは脱炭素化について話しています。しかし、私たちはまた、雇用を維持するだけでなく、経済回復を加速させる方法で脱炭素化することについて考えています。

カーボンフリーのエネルギーシステムへの移行に際して、私たちはコストを強く認識しています。私たちは、原子力であろうと他の電源プラントであろうと、発電所閉鎖がもたらす痛みを理解しています。化石燃料に長い間依存してきた地域を対象に原子力投資を行うことは、失業を回避するだけでなく、化石燃料産業における既存の人材を活用することができます。エネルギー源の枠を越えた労働者が、今日の原子炉群を建設しました。そして、同じようにエネルギー源の枠を越えた労働者は、21世紀の原子炉群を構築するのに役立つでしょう。

蒸気タービンの操作など、必要なスキルの多くは、高度に転用可能です。私はそれを直に経験しています。全国のプラントで見られるように、私がキャリアの初期の頃にニューヨークの原子力発電所を管理していたとき、化石燃料プラントの労働者が原子力発電所の計画的な燃料交換停止の作業のためにやってきました。

石炭の国において先進炉を建設するための特別なインセンティブは、雇用がひどく求められている地域社会で雇用を維持することです。そして、それはクリーンエネルギーの未来を構築することができる労働者に力を与えるというバイデン政権の公約を履行することになります。

多くの場合、次世代炉は文字通り化石燃料発電所のサイトに建設される可能性があります。次世代炉を電力網に接続するインフラの多くが既に存在しています。ニュースケール社のスケーラブルな技術は、様々なニーズや地理的領域をサポートし、廃止される石炭火力発電所のサイトに立地することができます。一部の先進炉は、最新の石炭火力の蒸気システムに適合しているので、建設コストを大幅に（25%以上）削減する可能性があります。

ワイオミング州、モンタナ州、ノースダコタ州、ユタ州、ウェストバージニア州などの州は、すべてこのアプローチに関心を示しています。原子力産業界は、クリーンなエネルギー設備と経済的機会を、最も必要とする場所に創出することができるのです。

最後に、現在運転中の原子力発電所が閉鎖されるならば、クリーンエネルギーの未来を構築し気候目標を達成することはできません。これは本当のリスクです。60年近くにわたるカーボンフリーの発電の後、ニューヨークのインディアンポイント原子力発電所は今年閉鎖されました。

今年脅威にさらされている原子力発電所が閉鎖されれば、失われるカーボンフリーの発電電力は、2019年に全国で配備された全ての再生可能エネルギーによる発電量に相当します。それでは脱炭素にはなりません。戦いが始まる前にタオルを投げ入れるようなものです。

NEIは、閉鎖の脅威にさらされている原子力発電所の運転を継続させるために戦っています。その現実を反映した法律と資金が必要です。気候変動の危機が強まるにつれて、長年の進歩を犠牲にせず、カーボンフリーの未来の構築を確実にするためには、皆さんの声全てが必要です。

原子力は、すべてを機能させることができます。原子力なしでは気候変動と景気回復に対する世界的な答えはあり得ません。本大会に参加して頂き、感謝します。一緒に、私たちはクリーンエネルギーシステムのカーボンフリーの中核に原子力を組み込むことができます。仕事に取り組みましょう。

以上